

第4学年 社会科 授業構想シート

授業者 中山 和幸

本実践の主張点	単元計画, 思考スキル, 授業のしかけについて子どもが省察性を働かせながら探究的に学べるように工夫することで, 探究力と省察性を育成できるだろう。
---------	---

1. 小单元名 わたしたちの住んでいる県 ～加太の人々と真鯛～

2. 4年A組の子ども

CHANGE (総合的な学習の時間) で進めている「加太の魅力発信プロジェクト」に加え, 遊びや買い物などで, 全ての子どもたちが1度は加太に足を運び, 様々な場所で様々な体験をし, 一人一人が加太の「ひと・もの・こと」と何らかのかたちでつながっている。加太の特産物の1つである「真鯛」についても, 「めでたい電車」や「タイレンジャー」などで全員が知っている。しかし, 「なぜ真鯛が特産物なのだろう?」と考える子どもは少ない。見ようとしないうちになかなか見えてこないもの、例えば、「～なぜ〇〇なのか」などといったような、「ひと・もの・こと」の意味や役割を自ら見ようとしたり, 考えたりできる子どもに育てていきたいと考えている。

3. 何ができるようになるか

探究力	省察性
・社会的な見方・考え方を働かせながら, 実社会を考察し, よりよい社会を構想する力 (問題解決力)	・社会的な見方・考え方を働かせながら, 自らの問題解決を多面的な視点からモニタリングし, 調整・改善する力(問題解決力を支える省察性)

4. 何を学ぶのか

① 小单元の目標

加太の鯛とそれを取り巻く人々の生活について, 進んで調べ, 考えることを通して, 加太の鯛が特産物である理由を自然環境及び人々の工夫という2つの視点から理解することができる。

加太の鯛を取り巻く問題を解決するために, 「自分にできること」を考えることを通して, よりよい社会を構想する態度を養うことができる。

② 教材の価値

子どもにとっての身近さ…本学級の子どもたちは, 和歌山市加太へ CHANGE の学習で2回出向き, 加太の主な観光スポットを存分に体験している。子どもたちにとって, 加太は身近であり, 学習を通してさらに身近になっていきやすい場所である。

鯛が特産物である理由…加太の鯛が特産物である理由は大きく2つある。1つは, 自然条件とのつながり, もう1つは, 人々の工夫や努力である。これら2つの視点を持ち, 社会を見ていくことで, 子どもたちは, 社会的な見方・考え方を働かせながら, 社会にある「ひと・もの・こと」がそれぞれつながっていることを理解することができるだろう。

③ 学年間・教科間のつながり

CHANGE の学習において、加太の魅力発信プロジェクトを進めている。加太の様々な魅力を知っている子どもたちだからこそ、加太の鯛を主教材にした学習には、意欲的に取り組むことができるだろう。また、CHANGE の学習で得た知識や体験が社会科の問題解決場面において「補完」の働きをし、子どもたちが思考・判断するための材料となることを期待している。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる つなげる まとめる 広げる 予想する 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全 10 時間） 本時 8/10</p> <p>第一次 資料を見ながら話し合い、学習問題を設定する。(①)</p> <p>第二次 校外学習に行き、社会的な見方・考え方を働かせながら、問題解決に必要な情報を収集する。(②③)</p> <p>第三次 空間的な視点で「鯛と人々の生活」を捉え直す。(④) 時間的な視点で「鯛と人々の生活」を捉え直す。(⑤) 関係的な視点で「鯛と人々の生活」を捉え直す。(⑥) 「鯛と人々の生活」についてまとめ、鯛を取り巻く問題を把握する。(⑦)</p> <p>第四次 第二・三次での学びを総動員し、問題を解決しようとするを通して、これからの社会や自己の在り方を考える。(⑧⑨⑩)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">単元における授業づくりのしかけ</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮したことを実感できるようにする。 </td> </tr> </table>	単元における授業づくりのしかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮したことを実感できるようにする。
単元における授業づくりのしかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 						
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な学習問題を全員が把握できるようにし、問題解決の見通しをもつことができるようにする。 ・ 問題解決に必要な知識を溜め、思考スキルを働かせながら、知識を関連づけたり、総合したりできるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮できるようにする。 						
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。 ・ 社会的な見方・考え方を発揮したことを実感できるようにする。 						

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太の人々は、地域の特色やよさを生かしながら、生活していることを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決に向けて、様々な知識を関連付け、総合し考えたことを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決に向けて、進んで学習に取り組んでいる。